

# 令和6年度 まちづくり移動町長室 開催結果概要

にのみやおはなし会  
図書館を楽しむ会・二宮  
ゆうなのき（わらべうたの会）

日時：令和6年9月25日(水)15:00～16:50

場所：ラディアン〔ミーティングルーム2  
図書館〕

参加者：14名

※二宮町図書館のリニューアル計画について、現地において説明後、意見交換を実施。

## 図書館のレイアウトについて

参加者	新庁舎南棟から図書館のテラス側（東側）出入口を通る動線ができると、幼児や高齢者と通行人が交錯し危険ではないか。また、図書館1階に幼児用トイレが整備されないとトイレが遠く幼児の利用が不便にはならないか。
施設再編課	テラス側（東側）に出入口を設ける計画だが、セキュリティの面もあり、常時開放する予定はない。 幼児用トイレは、図書館の構造上、どうしても近くに設置することが難しいが、図書館からトイレへの距離は一般的な商業施設を考えると許容範囲だと考えている。
町長	テラス側（東側）の出入口は、新庁舎南棟で乳幼児健診を行うときに、図書館と連携してブックスタートを行うなど、催しの際に通れるようにする想定である。

参加者	図書館とモールを隔てるガラスの壁を書架にして自由に出入りできるようにすると、図書館利用者はホール事業がある場合にモールの喧騒が気になってしまうのではないか。
参加者	ラディアンは複合施設であり、ホールと図書館は使用目的が大きく異なる。図書館と廊下の境をオープンにすることは、ホールイベントの際に図書館の使用に支障がある。
町長	設計業者のイメージパースは、リニューアル後の姿を分かりやすく表現したもののだが、この形に限定するものではない。町民意見募集の結果もふまえ細部はあらためて検討する。複合施設の運営、ホールとの共存については、専門家にも確認して進める。

## 図書館の利用について

参加者	図書館来館者数や図書貸出数は減少傾向にあるが、減少の理由は図書購入費が下がっているからではないか。
町長	近年、図書購入費は減らしていない。図書購入費だけが問題ではないと感じており、図書館そのもののあり方も含め、さまざまな意見を聞いて考えていく。

参加者	子ども達は忙しく図書館を利用する時間が取れないため、大人になったときに本に興味を持てるような子どもを育てる環境が大切である。 小学校入学時にもブックスタートのような事業を実施したり、高学年の子どもにブックトークを通じて本を紹介したりするなど、図書館から学校や保護者への働きかけがあると良い。そのための図書購入費や人件費にお金をかけることが町の魅力にもつながる。
町長	ブックスタートなどの取り組みについては、こういった形が良いのか教育委員会・学校とも検討する。図書購入費や人件費について、増やすことは確約できないが、少なくとも減らすことはしない。蔵書の持ち方については、図書館とも相談してどの分野に力を入れるべきか判断していく。 また、学校は忙しいと思うが、例えば図書館から学校に出向いたり、夏休みに利用していただく機会を作ったりすることなども教育委員会と考えていく。

参加者	年1回、中学校の「おはなし会」に伺っている。コロナで中断し途絶えてしまうと思ったが、2校とも復活した。それだけ中学校の先生が、子ども達にとっての読書の必要性を感じているのだと思う。逆に小学校の方がもともとの回数は多いが減ってきている。小さい頃からの積み重ねが大事なので、どのような取り組みが効果的か、学校と連携して考えて欲しい。また、一色小学校などは遠くて図書館に行けず地域間格差があると感じる。
参加者	文化庁の読書調査では、読書量の低下が顕著である。ラディアンの大規模改修の間、図書館は利用できないと思うが、その間、図書館から学校への働きかけや、学校図書館司書が子どもたちに関わり、読書に誘う時間を取れるよう考えていただきたい。
教育長	中学校では、2校とも朝読書を行うようになった。それだけ読書が大事だと感じているということで、小さいころからの積み重ねを大事にしていく。

参加者	1階のAVコーナーで新聞・雑誌を読む人が増えている。新聞はめくる音が気になり2階では読みづらいため、1階で読める居場所をつくっていただきたい。
施設再編課	1階にティーンズや雑誌のコーナーを設ける予定があるため、新聞コーナーについても併せて検討する。

## コワーキングスペースについて

参加者	コワーキングスペースに壁を設置してしまうと、図書館の一体感が失われると思う。図書館を大きくリニューアルする必要性に疑問を感じる。
施設再編課	「あらゆる世代にとって居心地の良い場所」とするために様々な議論を重ね、中学生とのワークショップや高校生へのアンケートを実施した結果、学習やコワーキングのスペースを求める声が多く聞かれた。デジタル化により時代が大きく変化する中、20年先を見据えてリニューアルを考えた。

参加者	図書館リニューアルは、人が集うことがコンセプトだと思う。「コワーキングスペース」という名称が、仕事をする人が使う場所という印象を受けるが、「交流スペース」のような名称にして、様々な人や団体が出会える有意義なスペースにしてほしい。また、中学生の学習スペースとして、以前のように展示ギャラリーを有効活用できないか。
施設再編課	コワーキングスペースは、さまざまな人が交流したり、一人一人が自由に活動したりすることができる居場所にすることがコンセプトである。机の配置も含め研究していく。展示ギャラリーの利用方法については、隣の「サービスコーナー」が庁舎移転に伴い不要となるため、一体的に考えていく。

## ホワイエの利用方法について

参加者	ホール上のホワイエをオープンにすることは、防犯的な観点からやめていただきたい。
町長	すぐに開放するということは想定していない。ラディアンすべての改修が終わり次第、ホールや図書館の利用状況、利用者の声を見聞きして検討する。

## 図書館リニューアルに係る設計の変更について

参加者	9月議会における質疑応答の中で、設計変更の可能性は無いと回答しているが、今後も話し合いの場は持っていただきたいし、設計変更にも応じていただきたい。
施設再編課	基本設計の中で、構造的な部分や基本的な考え方に関する変更は想定していない。一方で細部については、様々な意見を取り入れる必要があると感じている。
参加者	図書館とモールの境にあるガラスの壁の撤去は変更、取り止めにできるのか。

政策部長	<p>ガラスの壁は、当初はすべて取り払う考えだったが、皆さんからご意見をいただき、モールと図書館との間に一部仕切りを残すこととなった。仕切りを書架にするかは今後の検討となるが、ガラスは撤去する方向で進める。</p> <p>オープンスペースが良いという意見もあり、片方だけの意見を取り入れることは難しい。設計細部の変更は、できることを探っていきたい。</p>
------	--